



【学校教育目標】人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.6

令和4年8月24日

京都市立東山泉小中学校

校長 岩田 智典



夏休みの“挑戦” ～2学期開始にあたって～

本日から2学期が始まりました。1学期の終業式に児童生徒の皆さんに「夏休みには何かに挑戦(チャレンジ)してください。」という話をしましたが、夏休み中に、見事な挑戦をしてくれた児童生徒たちを紹介したいと思います。

まずは、京都市夏季選手権大会での男子ハンドボール部の活躍。7月23日(土)に伏見港体育館で行われた四条中学校との決勝戦。序盤から、多彩な攻撃を繰り広げて得点を重ね、自分たちらしいプレーを見せてくれました。力を入れていたディフェンスでも、選手1人1人が自分の役割をしっかりと果たし、相手チームに簡単に得点を許すことはありませんでした。試合の最後までリードし続け、24-19で見事勝利を収めました。

試合後に行われた表彰式では、「ありがとうございます!」としっかり挨拶をし、賞状やトロフィーなどをいただいていた姿がとても印象的でした。プレー以外のこのような姿勢も、素晴らしい結果を導いているのだと思います。また、女子ハンドボール部は4位という結果でしたが、自分たちの試合が終わったにも関わらず、男子ハンドボール部の応援をしたい、ということで決勝戦では声援や拍手を送り続けました。このことも、男子ハンドボール部の活躍につながったのだと思います。

男子ハンドボール部は、京都市では、秋季大会、春季大会、夏季大会と3連覇。偉業を成し遂げてくれました。応援にかけつけていただいた保護者の方々、部員たちに力をいただき本当にありがとうございました。



男子ハンドボール部
京都市夏季大会優勝



次は8月7日、島津アリーナで行われた「2022 全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会」での活躍。この大会に5年生から2チーム(ランクアップ泉/泉パワー)、6年生から2チーム(泉・白虎/泉・青龍)の計4チームが出場しました。そして、ジュニア 360キログラム以下の部で、「泉・青龍」チームが『優勝』、「泉・白虎」チームが『3位』という素晴らしい結果を残してくれました。

優勝した「泉・青龍」は、予選リーグで負けた群馬県のチームと決勝戦で再戦することになりました。決勝戦の前に、「どうしても、群馬県のチームを倒したい!」という思いを5年生に伝え、直前のウォーミングアップには6年生の「泉・白虎」と5年生が協力するという一幕もありました。そして、迎えた決勝戦。1セット目は、善戦したものの取られてしまいましたが、そこで諦めることなく2セット目を取り返しました。3セット目、試合開始直後は、相手チームに強く引かれて、厳しい局面となりました。しかし、強い気持ちで綱を引き、長時間の試合を制して勝利を収め、見事優勝をつかみ取りました。

表彰式では、日本綱引連盟会長で、本校の学校運営協議会理事長でもある石井良之様から、「泉・青龍」の「優勝」と、「泉・白虎」の「3位」を表彰していただきました。たくさんの応援をくださった保護者やバザーに協力していただいた地域の皆様、本当にありがとうございました。



6年生「泉・青龍」
全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会優勝

夏休みの児童生徒の活躍を紹介させていただきましたが、勝敗がすべてではありません。参加すること、目標に挑戦しようとする気持ちが大切なのだと思います。結果、うまくいかなかったとしても、友達との絆、応援してくださった方々への感謝、反省を生かした次への更なる挑戦と何かが心の中に残り、それが子どもたちの成長につながっていきます。2学期以降、児童生徒たちが「新たな挑戦」をしてくれることを期待しています。